

通信各社合同訓練実施支援



2025年1月28日、NTTグループ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル（以下通信各社）合同による災害時の燃料確保訓練を当社平塚拠点（神奈川県平塚市）にて実施しました。通信各社は災害時のさらなる早期通信復旧を目的に協力体制を強化する方向性を2024年12月に発表されています。今回の訓練はその具体的な対策のひとつとして、被災地での車両用燃料確保のための仮設給油所の共同利用について訓練を行いました。

通信各社ご担当者の皆様に当社平塚支店にお集まりいただき、仮設給油所の設置条件や設置手順、能登半島地震対応における仮設給油所の運用実績等についてご説明をさせていただき、仮設給油所の共同利用についてのディスカッションをさせていただきました。

今後もさまざまな形で災害時における通信環境の早期復旧に尽力できるよう、当社も体制強化に努めてまいります。



煩雑な備蓄食管理業務課題を解決

自治体からの要請等を受けて、3日分の食糧備蓄を行っている企業や団体様から備蓄食に関する様々なお困りごとのご相談をいただきます。人数の増減に伴う備蓄食の数量管理や、消費期限管理、実数の棚卸といった管理業務から、置き場所がないや、何をどうそろえたら良いかわからないなど、その内容は多岐にわたります。

このような備蓄食・備蓄品に関する課題を全て解決する備蓄食・備蓄品ワンストップサービスを当社ではご提案をさせていただいております。リアルタイムな数量管理から期限による入替対象の管理、入替、棚卸管理など、備蓄食管理に関わるあらゆる課題を解決いたします。備蓄食・備蓄品管理にお困りごとがございましたら何なりとご相談ください。



専門家に聞く

備蓄食の準備や管理は大変です。今は企業活動がグローバル化しており、様々なバックグラウンドを持った従業員と一緒に働いている場合も増えています。また、種々の食物アレルギーをお持ちの方もいます。このため、宗教的な理由やアレルギーで口にすることのできない食材があるかもしれない、ということも踏まえた備蓄食管理が必要になります。ただ、大学の卒論で調べたところ、幸いなことに、そのような事情に配慮した食品も数多く製品化されており、中には大変美味しい備蓄食もあります。プロフェッショナルによるノウハウの蓄積・活用が必要な仕事です。

（関西大学社会安全学部 教授 一井 康二）



「総合防災・減災企業」として命をつなぐサービスを増進する



日本BCP株式会社

【東京本社】〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町 48 番地 ism 神田 2 階
TEL:03-5289-0223/FAX:03-5289-0235
【大阪本部】〒599-8235 大阪府堺市中区深井東町 3099 番地
TEL:072-230-5888/FAX:072-230-5887

お問合せはこちら



当通信の文章・画像・図表等の無断転載・複製を禁止します